

6年産

「玉葱（極早生品種）」栽培基準

品 種 名	SN3-A
目標粗原反収	5,000kg
目標製品反収	4,500kg
播 種 時 期	2月上旬～3月上旬
定 植 時 期	4月下旬～5月上旬
収 穫 時 期	8月上旬～8月下旬

	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
基本作業	播 種						育 苗						手取除草						定 植						根切り								
	防 除												被 覆						収 穫・風 乾														
	防 除												被 覆						収 穫・風 乾														
	防 除												被 覆						収 穫・風 乾														
	防 除												被 覆						収 穫・風 乾														

【施肥基準】

肥料名	施用量	要素量(kg/10a)					
		窒素			リン酸	加里	
		N	NN	ON			
① S489A(リン酸・加里減肥銘柄)	70kg	9.1	0.7	9.8	5.6	6.3	
② DdS088(有機質肥料)	100kg	7.0	1.0	2.0	10.0	18.0	8.0

【施肥上の注意点】

- ①窒素施用量は上限を10kg/10aとする。
→窒素施用量が多いと腐敗が増加するので注意すること
- ②pHが低いと、生育が劣る。pHが低い場合はpH6.0～6.5に必ず矯正する。
- ③リン酸の肥効が劣ると、根の活着及び根の伸長が悪くなり、乾燥害を受けやすい。
土壌診断で有効態リン酸(60～80mg/100g)を確認し必要に応じて加減する。

【基幹防除ローテーションと作業体系】

散布時期	薬剤名および作業
定植前	カルホス乳剤
4月下旬	定植
定植活着後	モーティブ乳剤
定植後	被覆(5月下旬まで) ※被覆期間は20～30日間
6月上旬	アクチノール乳剤
6月中旬	フロンサイドSC
6月下旬	トクテオン乳剤 シルバキユアフロアブル又はバレード20フロアブル
7月上旬	ディアナSC バクテサイド水和剤 カンタスドライフロアブル
7月中旬	バクテサイド水和剤
7月下旬 (倒伏期)	フロンサイドSC コサイド3000
7月下旬	根切り(倒伏期から1週間前後)
8月上旬	収穫(根切り後10日～14日)

【農薬使用基準】

項目	適用病虫害名	農薬名	使用濃度(倍)	10a当り薬量(水100L)	適正使用基準		RACコード	
					使用時期	回数		
殺虫剤	タマネギバエ	カルホス乳剤	500	育苗箱1箱当り0.5L	定植前	1	I:1B	
	アザミウマ類・ネギハモグリバエ	ディアナSC	2,500	40ml	前日	2	I:5	
	ネギアザミウマ・ネギハモグリバエ	グレーシア乳剤	2,000	50ml	7日	2	I:30	
		リーフガード顆粒水和剤	1,500	66g	3日	3	I:14	
	アザミウマ類	トクテオン乳剤	1,000	100ml	7日	4	I:1B	
殺菌剤	べと病・灰色かび病	グリーンペンコゼブ水和剤	400	250g	3日	5	F:M3	
	べと病・灰色かび病 灰色腐敗病	フロンサイドSC	1,000	100ml	3日	5	F:29	
	灰色かび病・灰色腐敗病	ストロビーフロアブル	2,000	50ml	14日	3	F:11	
	小菌核病 灰色かび病 灰色腐敗病	バレード20フロアブル	2,000	50ml	前日	3	F:7	
		ミリオネアフロアブル	4,000	25ml	前日	4	F:7	
		カンタスドライフロアブル	1,500	66g	前日	3	F:7	
		シルバキユアフロアブル	2,000	50ml	前日	3	F:3	
	軟腐病	スターナ水和剤	1,000	100g	7日	5	F:31	
		バクテサイド水和剤(抗生物質・銅)	500	200g	7日	5	F:M1 F:25 F:41	
			軟腐病・りん片腐敗病 灰色かび病・灰色腐敗病	スクレタン水和剤	500	200g	前日	5
軟腐病・りん片腐敗病			クプロシールド コサイド3000	1,000 1,000	100ml 100g	- -	- -	F:M1 F:M1

項目	適用雑草	農薬名	10a当り薬量	使用時期	回数	RAC
除草剤	一年生雑草	モーティブ乳剤	400ml	定植後(雑草発生前まで)但し、定植45日後まで	1	H:15 H:3
	一年生広葉雑草	アクチノール乳剤	150ml	雑草3～5葉期(6月上旬、収穫30日前まで)	2	H:6
	一年生イネ科雑草	セレクト乳剤	75ml	イネ科雑草3～5葉期(収穫21日前まで)	3	H:1

※カヤツリグサを優先的に防除したい場合はバサグラン液剤(120ml、雑草3～4葉期、6月上旬、収穫30日前、1回)が使用可能。

【土づくり・防除技術】

1. 有機物施用や緑肥を導入し、地力の向上と物理性の改善に努める。
2. 土壌診断を実施し、適正施肥を行なう。
3. ネギアザミウマについては、発生予察を行い発生状況に応じて防除する。
 - ・1回目 → 寄生株率が50%以上になったら直ちに防除。
 - ・2回目 → 寄生株率が10%以上になったら10日以内に防除。
 - ・3回目以降 → 寄生株率が10%以上になったら10日以内に防除。10%未満の場合は防除を行わない。
4. 灰色かび病(白斑葉枯病)については、初期発生を確認して防除を行う。
5. 灰色腐敗病(貯蔵腐敗)については、白斑葉枯病防除を兼ねて、フロンサイドSCを倒伏期の最終防除に散布する。